

Jiro Inagaki, Reiji Fukano, Yuichi Kodama, Kentaro Nakashima, Nobuhiro Ito, Miho Nishimura, Jun Okamura Long-term follow-up for children with SAA and RCC received 3 Gy TBI containing conditioning regimen
第74回日本血液学会学術集会:2012. 10. 20 京都

Yasuhiro Okamoto, Aiko Suminoe, Hiroko Inada, Yuichi Shinkoda, Jiro Inagaki, Hideki Nakayama, Fumio Yanai, Hiroshi Moritake, Noriko Hotta, Nobuyoshi Itonaga, Yuki Koga, Akinobu Matsuzaki, Koichiro Ueda, Shuichi Ozono, Kiyoshi Kawakami, Reiji Fukano, Yuko Nomura, Sachiyo Kamimura, Jun Okamura, Yoshifumi Kawano Combined analysis of treatments for pediatric ALL in KYCCSG protocols, ALL-96 and ALL-02
第74回日本血液学会学術集会:2012. 10. 21 京都

Nobuhiro Ito, Takuro Nishikawa, Daisuke Sawa, Kentaro Nakashima, Reiji Fukano, Jun Okamura, Youjiro Inoue, Jiro Inagaki Necrotizing soft tissue infection accompanied by GVHD after DLI for acute lymphoblastic leukemia
第74回日本血液学会学術集会:2012. 10. 19 京都

Takuro Nishikawa, Keisuke Kato, Nobuhiro Ito, Daisuke Sawa, Kentaro Nakashima, Reiji Fukano, Masahiro Tsuchida, Jun Okamura, Jiro Inagaki Stem cell transplantation for acute leukemia with t(10;11)(p12;q14)
第74回日本血液学会学術集会:2012. 10. 20 京都

伊藤暢宏, 西村美穂, 中島健太郎, 児玉祐一, 深野玲司, 岡村 純, 稲垣二郎, 船越康智, 岡田雅彦 血縁者間骨髄移植を行った congenital dyserythropoietic anemia(CDA)の女児例
第18回九州山口小児血液・腫瘍研究会: 2012. 06. 30 北九州

中島健太郎, 深野玲司, 伊藤暢宏, 西村美穂, 児玉祐一, 岡村 純, 稲垣二郎, 矢口貴志 AML の治療中に、血液の PCR にて Pseudallescheria boydii と Geotrichum candidum が検出された7歳男児例
第115回日本小児科学会学術集会: 2012. 04. 20 福岡

西川拓朗, 稲垣二郎, 永利義久, 澤大介, 伊藤暢宏, 中島健太郎, 深野玲司, 河野嘉文, 岡村純 同種移植後に再発した小児血液腫瘍患児の長期成績 -Second allo-SCT の役割
第34回日本造血細胞移植学会総会:2012. 02. 25 大阪

稲垣二郎, 深野玲司, 西川拓朗, 中島健太郎, 澤大介, 伊藤暢宏, 岡村 純 JMML に対する SCT:単一施設における検討
第34回日本造血細胞移植学会総会:2012. 02. 25 大阪

澤大介, 西川拓朗, 中島健太郎, 守田弘美, 伊藤暢宏, 深野玲司, 稲垣二郎, 岡村 純 臍帯血移植後に肺水腫を繰り返し発症した乳児急性リンパ性白血病の2例
第34回日本造血細胞移植学会総会:2012. 02. 25 大阪

H. 知的財産権の出願・登録状況

1. 特許取得

なし

2. 実用新案登録

なし

平成 24 年度 厚生労働科学研究費補助金(がん臨床研究事業)
分担研究報告書

小児がんの罹患数把握および晩期合併症・二次がんの
実態把握のための長期フォローアップセンター構築に関する研究

分担課題： 小児がん経験者の自立を含めた実態把握と支援

研究分担者 稲田 浩子

研究要旨

小児がんの治癒率は向上しているが、治療終了後も長い生涯にわたって「小児がんであったこと」と切り離すことのできない現実がある。疾病の治癒後に出てくる身体的問題（特に二次がんなど）と社会的不適応（卒業後の就業困難など）は、多くの小児がん経験者を苦しめる。それに対して社会的な保障制度はなく、今後の充実が急務である。また、治療終了後長期間を経過したのち二次がんを発生する人の割合も増加しており、支援体制の充実が望まれる。小児がん治療終了後も、医療関係者との信頼関係を長期にわたって維持していくことが重要である。

A. 研究目的

小児がんの治癒率が向上したが、真に「治癒」というには、個人の晩期合併症・自立の状況を把握し、支援する必要がある。今回の研究目的は、実態を把握して、小児がんを真の治癒に導くための第1歩である。

B. 研究方法

1. 久留米大学病院で経過観察中の小児がん経験者の受診状況・本人への告知の有無・現在の状況・晩期合併症の有無について調査。
2. 自立を妨げている要因について検討、患者会・キャンプなどを紹介する
3. その他、困っていること、不安などについて、話を聞き対応する。

C. 結果

1. 1980年以降に当科で治療を行った小児がん患者は約660名で、1990年以前の発症例では本人に対する病名告知が行われず、経過観察が途絶えている症例が多かった。
2. 二次がん、腎不全のような重篤な晩期合併症を17名に認めた。

3. 就職の問題（体力、能力、社会の中で生活する自信）、結婚の問題など、社会生活の中での問題を抱える人も多い。

4. 一方で、小児がんの既往を理解する伴侶を得、幸せな結婚生活、新しい家族を築く人たちも増えた。妊娠や出産における不安を口にする人たちも多いが、時間をかけた対応での不安軽減も可能である。

D. 考察

1. 病気（小児がん）の治癒で一安心した後に出てくる身体的問題（特に二次がんなど）、社会的不適応は、多くの小児がん経験者を苦しめる。

2. 原疾患が治癒した後も、医療関係者との信頼関係を維持していくことが重要である。長期フォローアップ外来における対応には、十分な時間をかけながら個々の悩みに応じる必要がある。

3. 患者会や仲間との交流により、解決手段が見えてくることも多く、その役割は大きいと考える。

E. 結論

1. 小児がん治療後の身体的・精神的・社会的合併症は少なくなく、今後の治癒率の上昇とともにさらに増えることが予測される。
2. 様々な面で、長期の支援体制を確立させることが急務である。
3. 社会的な保障制度の確立が必要である。

F. 健康危険情報

(分担研究報告書には記入せずに、総括研究報告書にまとめて記入)

G. 研究発表

4. 論文発表
5. 学会発表

稲田浩子：小児がんの子どもと家族のレジリエンスを高める。第115回 日本小児科学会 医師・看護師を含む医療専門職セッション教育セミナー (2012. 4. 22 福岡)

大園 秀一、中川 慎一郎、上田 耕一郎、稲田浩子、松石 豊次郎、佐伯 俊成、山脇 成人、小林 正夫。入院から通院に移行する小児がん患者の両親における心理的負担と家族機能の関係：第115回日本小児科学会学術集会。2012年4月20日～4月22日(福岡市)

稲田浩子：小児がん経験者を支えるネットワーク。第18回九州山口小児血液・腫瘍研究会 (2012. 6. 30、北九州)

稲田浩子：長期フォローアップ外来の現状～理想と現実～：第54回日本小児血液がん学会 SY10「長期フォローアップを取り巻くチーム医療」 (2012. 12. 2 横浜)

Shuichi Ozono, Hiroko Inada, Koichiro Ueda, Maiko Noguchi, Tomoyuki Mantani, Toshinari Saeki, Shigeto Yamawaki. Posttraumatic stress symptoms among parents of childhood cancer in transition from inpatient to outpatient settings. Joint meeting of IPOS 14th World Congress and COSA's 39th Annual Scientific Meeting. 13th-15th November 2012, Brisbane Convention & Exhibition Centre, Brisbane, Australia

H. 知的財産権の出願・登録状況

(予定を含む。)

7. 特許取得
なし
8. 実用新案登録
なし
9. その他
なし

平成 24 年度 厚生労働科学研究費補助金（がん臨床研究事業）
小児がんの罹患数把握および晩期合併症・二次がんの実態把握のための
長期フォローアップセンター構築に関する研究
分担研究報告書

研究分担者 足立 壯一 京都大学医学研究科人間健康科学系専攻教授

研究要旨： 本邦における小児がんの晩期合併症・二次がんの実態把握は長期フォローアップを行ううえで最も重要な問題である。京都大学では黒田班の分担研究者としてデータ入力及びデータ整理を行うデータマネージャーを新規に雇用することにより、1980 年以降に発症したすべての小児がん患者のデータベースを構築し、13 例の二次がん発症症例及び晩期合併症等の解析を行った。また作業療法士の協力を得て、造血細胞移植後患児の詳細な認知機能検査を行い、個人内差で有意差を示す症例が多く、認知機能検査及び作業療法の介入の重要性が示唆された。

A. 研究目的

小児がん患者の晩期合併症・二次がんの実態把握のための長期フォローアップセンター構築のため、黒田班の分担研究者として、研究プロジェクトを遂行するとともに、京都大学人間健康教員とともに小児白血病及び再生不良性貧血患者の造血細胞移植後の認知機能検査を行い、作業療法士の介入の意義についても検討する。

B. 研究方法

1. 小児がん診断後の二次がん発症に関する疫学研究の研究メンバーとして京都大学小児科における小児がん診断症例（1980年～2012年発症で2か月以上生存例）の調査を行い、二次がん発症11例について検討した。

2. 造血細胞移植児の認知機能と協調運動及びQOLに関する研究を京都大学小児科、大阪母子保健医療センター血液腫瘍科、東海大学小児科、京都市立病院小児科患者に対して本人及び代諾者の同意を得たうえで施行した。

（倫理面への配慮）

京大倫理委員会にて研究計画書を承認（承認番号 E-1261, E-1164, E-1144）されたい

えで、研究を施行した。

C. 研究結果

1. 京都大学小児科における 1980 年から 2011 年発症の小児がん診断症例（2 か月以上生存例）は 525 例で、ALL 187 例、AML 77 例、MDS 13 例、CML 10 例、NHL 34 例、ホジキン病 10 例、脳腫瘍 41 例、神経芽腫 25 例、網膜芽細胞腫 24 例、肝芽腫 21 例、Wilms 腫瘍 8 例、骨肉腫 22 例、Ewing 肉腫 6 例、胚細胞腫瘍 7 例、LCH 8 例、その他 32 例であった。

二次がんは 13 例で、骨肉腫 3 例、MDS 3 例、髄膜腫 2 例で、軟部肉腫、大腸がん、口腔底がん、横紋筋肉腫、甲状腺腫瘍（乳頭がん）がそれぞれ 1 名であった。なお、三次がん（初発はホジキン病、二次がんは骨肉腫、三次がんは MDS）も 1 例見られた。

2. 小児急性白血病に及び再生不良性貧血により、造血細胞移植施行後、本人と家族から同意を得た通常学級に通学している 6-16 歳の 14 名（12Gy 以上の高線量群 8 名、0-3Gy の低線量・非照射群 6 名）を対象に、認知機能評価として、日本版 WISC-III 知能検査法、日本版 DN-CAS を行った。QOL 評価は PedsQL 日本

語版を用いた。認知機能検査では、WISC-IIIの3つのIQと4つの群指数標準得点及びDN-CASの全検査標準得点と4つのPASS尺度標準得点において、高線量照射群と低線量・非照射群の2群間に有意差はなかった。WISC-IIIで言語性IQと動作性IQに個人内差に有意差が認められる児は、高線量照射群 50.0%、低線量・非照射群で33.3%であった。DN-CASのPASS尺度間で個人内差に有意差が認められる児は高線量照射群、低線量・非照射群ともに、100%であった。

D. 考察

認知機能検査で個人内差を示す児は学校生活場面で何らかの困難さを引き起こしやすく、発達全般に影響することが懸念される。また、乳児期に造血細胞移植を施行された児は特に、個人内差が大きい傾向もみられ、嚴重な経過観察が必要である。現在、大阪母子保健医療センターや東海大学、京都市立病院と多施設共同研究を施行中であり、TBI 照射量や造血細胞移植時年齢や移植後年数と認知機能検査、協調運動検査を検討していく。

E. 結論

黒田班の研究プロジェクトを遂行し、二次がん発症例の検討を行った。

移植後に通常学級に通学している児における詳細な認知機能検査、協調運動検査の結果、作業療法士の介入が有意義であることが示唆された。

F. 研究発表

論文発表

1.Tanaka A, Okuyama T, Suzuki Y, Sakai N,

Takakura H, Sawada T, Tanaka T, Otomo T, Ohashi T, Ishige MW, Yabe H, Ohura T, Suzuki N, Kato K, Adachi S, Kobayashi R, Mugishima H, Kato S. Long-term efficacy of hematopoietic stem cell transplantation on brain involvement in patients with mucopolysaccharidosis type II: A nationwide survey in Japan. *Mol Genet and Metab* 2012, 107: 513-520

2. Nagai A, Ning Z, Kubota M, Kojima C, Adachi S, Usami I, Okada M, Tanizawa A, Hamahata K, Matsubara K, Higuchi M, Imaizumi M. Fatigue in survivors of childhood of acute lymphoblastic and myeloid leukemia. *Pediatr Int* 2012 54(2): 272-276

G. 知的財産権の出願・登録状況

1. 特許取得

予定なし

2. 実用新案登録

該当なし

3. その他

該当なし

Ⅲ. 研究成果の刊行に関する一覧表

研究成果の刊行に関する一覧表

書籍

著者氏名	論文タイトル名	書籍全体の編集者名	書籍名	出版社名	出版地	出版年	ページ
石田也寸志	急性白血病治癒患者における晩期後遺症	大野 竜三 編集「急性白血病」	最新医学別冊	最新医学社	大阪	2012	232-240
田口 智章、 木下 義晶	14 新生児外科系疾患 腹部疾患（臍帯ヘルニア、腹壁破裂）症例から学ぶ	日本周産期・新生児医学会 教育・研修委員会 編集	周産期診療ワークブック	メジカルビュー社		2012	408-414
田口 智章、 林田 真	B 胆 1. 胆道閉鎖症	菅野健太郎、上西紀夫、井廻道夫 編	消化器疾患最新の治療 2013-2014	南江堂		2013	
三上春夫	がん登録の行く末～社会に向けて Population-based cancer registry in the era of cancer survivors- Where we are going	地域がん登録全国協議会編	JACR Monograph No. 17	地域がん登録全国協議会	東京	2012	6-10
三上春夫	全国がん(成人病)センター協議会加盟施設における5年生存率(1999-2003年診断症例)	「がんの統計」編集委員会	「がんの統計' 11	(財)がん研究振興財団	東京	2012	20-21, 72-73
三上春夫、 高山喜美子、 稲田潤子	清掃工場周辺における肝臓および肺悪性腫瘍症例集積の検討	地域がん登録全国協議会編	JACR Monograph No. 17	地域がん登録全国協議会	東京	2012	58-59
井岡亜希子、 伊東ゆり、 津熊秀明	がんの罹患と死亡動向の府県別分析	監修 祖父江友孝. 編集 片野田耕太、味木和喜子、津熊秀明、井岡	がん・統計白書 2012-データに基づくがん対策のために	篠原出版(単行本)	東京	2012	43-61
前田美穂	(分担) 悪性腫瘍：晩期合併症	総編集 遠藤文夫	最新ガイドライン 小児科診断・治療指針	中山書店	東京	2012	919-922
清谷知賀子 横井匡、清谷知賀子 清谷知賀子	「組織球症」 「網膜芽細胞腫」 「脳腫瘍」	加藤俊一 監修 石田也寸志、前田美穂編	よくわかる 小児がん経験者のために～より良い生活の質(QOL)を求めて 疾患別のポイ	医薬ジャーナル社		2011	42-44 66-69 73-77

雑誌

発表者氏名	論文タイトル名	発表誌名	巻号	ページ	出版年
Yoshida G. J., Fuchimoto Y., Osumi T., Shimada H., Hosaka S., Morioka H., Mukai M., Masugi Y., Sakamoto M., <u>Kuroda T.</u>	Li-Fraumeni syndrome with simultaneous osteosarcoma and liver cancer: Increased expression of a CD44 variant isoform after chemotherapy.	BMC cancer.	12	444	2012
Fuchimoto Y., Morikawa N., <u>Kuroda T.</u> , Hirobe S., Kamagata S., Kumagai M., Matsuoka K., Morikawa Y.	Vincristine, actinomycin D, cyclophosphamide chemotherapy resolves Kasabach-Merritt syndrome resistant to conventional therapies.	Pediatrics international	54(2)	285-287	2012
田中 秀明, 森川 信行, 武田 憲子, 渡辺 稔彦, 藤野 明浩, 北野 良博, 黒田 達夫, 正木 英一, 中澤 温子, 塩田 曜子, 熊谷 昌明, 清谷 知賀子, 森 鉄也.	胸膜肺芽腫の治療における外科治療	小児外科	43(5)	529-534	2011
藤野 明浩, 北村 正幸, 黒田 達夫, 北野 良博, 森川 信行, 田中 秀明, 高安 肇, 武田 憲子, 鈴木 昌也, 松田 諭, 山根 裕介, 正木 英一	リンパ管腫内リンパ液動態の検討.	リンパ学	34(1)	7-12	2011
遠武 孝祐, 安藤 直子, 小川 公一, 前田 雄岳, 徳中 真由美, 荒川 香, 大森 明澄, 新城 梓, 吉江 正紀, 佐々木 康, 高橋 諄, 黒田 達夫	卵巣未熟奇形腫の術後化学療法後に発症したGrowing teratoma syndrome(GTS)の1症例	日本産科婦人科学会神奈川地方部会誌	47(2)	129-132	2011
<u>Ishida Y.</u> , Hatao, M, Fukushima, O et al	Comparison between cancer specialists and general physicians regarding the education of nurse practitioners in Japan: a postal survey of the Japanese Society of Clinical Oncology.	Int J Clin Oncol (Epub) 08/2012;		DOI:10.1007/s10147-012-0460-2,	2012

<u>Ishida Y</u> , Takahashi, M, Maru, M, Mori, M, Henderson, TO, Daugherty, CK, Manabe, A	Physician preferences and knowledge regarding the care of childhood cancer survivors in Japan: a mailed survey of the Japanese Society of Pediatric Oncology.	Jap J Clin Oncol	42(6)	513-21	2012
Asami K, <u>Ishida Y</u> , Sakamoto N	Job discrimination against childhood cancer survivors in Japan: A cross-sectional survey.	Pediatrics Int	54(5)	663-8	2012
<u>Ishida Y</u> , Ohde S, Takahashi O et al	Factors affecting health care utilization for children in Japan.	Pediatrics	129(1)	e113-9	2012
Deshpande GA, Soejima K, <u>Ishida Y</u> , et al	A global template for reforming residency without work-hours restrictions: decrease caseloads, increase education. Findings of the Japan Resident Workload Study Group.	Med Teach	34(3)	232-9	2012
Tokuda Y, Goto E, Otaki J, Omata F, Shapiro M, Soejima K, <u>Ishida Y</u> et al	The new Japanese postgraduate medical education and quality of emergency medical care	J Emerg Med	43(3)	494-501	2012
Sato I, Higuchi A, Yanagisawa T, <u>Ishida Y</u> , et al	Factors influencing self- and parent-reporting health related quality of life in children with brain tumors.	Quality of Life Research (Epub) May3		DOI:10.1007/s1136-012-0137-3	2012
Hasegawa D, Manabe A, <u>Ishida Y</u> et al	The utility of performing the initial lumbar puncture on day 8 in remission induction therapy for childhood acute lymphoblastic leukemia: TCCSG L99-15 study	Pediatr Blood Cancer	58(1)	23-30	2012
Takei Y, Ozawa M, <u>Ishida Y</u> et al	Clinician's perspectives on support for children with a parent who is diagnosed with breast cancer.	Breast Cancer (Epub) Oct 11		DOI:10.1007/s12282-012-0414-6	2012

<u>Ishida Y</u> et al	Association between Parental Preference and Head Computed Tomography in Children with Minor Blunt Head Trauma.	JAMA Pediatrics		(In Press)	2013
Schmiegelow K, Levinsen M, <u>Ishida Y</u> et al	Second Neoplasms after Treatment of Childhood Acute Lymphoblastic Leukemia.	J Clin Oncol		(In Press)	2013
石田也寸志, 渡辺静, 小澤美和, 他:	小児がん経験者の晩期合併症の予測は可能か—聖路加国際病院小児科の経験—.	日本小児血液がん学会雑誌	49(1/2)	31-39,	2012
石田也寸志, 本田美里, 坂本なほ子, 子他	小児がん経験者の横断的調査研究における自由記載欄の解析.	日本小児科学会雑誌	116(3)	526-536	2012
石田也寸志、有瀧健太郎、浅見恵子他	小児がん経験者のための長期フォローアップ手帳に関するアンケート調査.	日本小児血液がん学会雑誌		(印刷中)	2013
石田也寸志、樋口明子、山崎由美子他:	がん患者向け情報提供ツールに対する小児がん関係者によるアンケート調査.	日本小児血液がん学会雑誌		(印刷中)	2013
宮下文織, 小野林太郎, 長沖優子, 石田也寸志, 真部淳, 細谷亮太	プライマリケア・マスターコース 小児科診療のすすめ 乳幼児突然死症候群(SIDS)	日本医事新報	4578	46-49	2012
吉田輝彦 細谷要介, 石田也寸志, 真部淳, 細谷亮太	プライマリケア・マスターコース 小児科診療のすすめ 小児の化膿性関節炎	日本医事新報	4582	46-49	2012
石田也寸志	エビデンスのあるQOL研究	小児科臨床	65(8)	1812-1815	2012
Alatas FS, Masumoto K, Esumi G, Nagata K, <u>Taguchi T.</u>	Significance of abnormalities in systems proximal and distal to the obstructed site of duodenal atresia.	J Pediatr Gastroenterol Nutr	54(2)	242-7	2012
Tajiri T, <u>Souzaki R</u> , Kinoshita Y, Koga Y, Suminoe A, Hara T, <u>Taguchi T.</u>	Implications of surgical intervention in the treatment of neuroblastomas: 20-year experience of a single institution.	Surg Today	42(3)	220-4	2012
<u>Taguchi T</u> , Nagata K, Kinoshita Y, Ieiri S, Tajiri T, Teshiba R, Esumi G, Karashima Y, Hoka S, Masumoto K.	The utility of muscle sparing axillar skin crease incision for pediatric thoracic surgery.	<u>Pediatr Surg Int</u>	28	239-244	2012

Morimatsu K, Aishima S, Kayashima T, Hayashi A, nakata K, Oda Y, <u>Taguchi T</u> , Tsuneyoshi M, Tanaka M, Oda Y.	Liver-Intestine Cadherin Expression Is Associated with Intestinal Differentiation and Carcinogenesis in Intraductal Papillary Mucinous Neoplasm.	Pathobiology	79	107-114	2012
Tajiri T, <u>Sozaki R</u> , Kinoshita Y, Yosue R, Kohashi K, Oda Y, <u>Taguchi T</u> .	Surgical intervention strategies for pediatric ovarian tumors: experience with 60 cases at one institution.	Pediatr Surg Int	28(1)	27-31	2012
Kohashi K, Takahashi Y, <u>Taguchi T</u> , Oda Y.	Pediatric Rhabdomyosarcoma: Role of Cell Cycle Regulators Alteration.	Pediatric Cancer	2(1)	23-30	2012
Saeki I, Tokunaga S, Matsuura T, Hayashida M, Yanagi Y, <u>Taguchi T</u>	A formula for determining the standard liver volume in children: a special reference for neonates and infants.	Pediatr Transplant	16(3)	244-9	2012
Uchiyama H, Kayashima H, Matono R, Shirabe K, Yoshizumi T, Ikegami T, Soejima Y, Matsuura T, <u>Taguchi T</u> , Maehara Y.	Relevance of HLA compatibility in living donor liver transplantation: the double-edged sword associated with the patient outcome.	Clin Transplant	26(5)	E522-9	2012
Alatas FS, Hayashida M, Matsuura T, Saeki I, Yanagi Y, <u>Taguchi T</u> .	Intracranial hemorrhage associated with vitamin K-deficiency bleeding in patients with biliary atresia: focus on long-term outcomes.	J Pediatr Gastroenterol Nutr	54(4)	552-7	2012
Usui N, Kitano Y, Sago H, Kanamori Y, Yoneda A, Nakamura T, Nosaka S, Saito M, <u>Taguchi T</u> .	Outcomes of prenatally diagnosed sacrococcygeal teratomas: the results of a Japanese nationwide survey.	J Pediatr Surg	47(3)	441-7	2012
Kinoshita Y, Suminoe A, Inada H, Yagi M, Yanai F, Zaizen Y, Nishi M, Inomata Y, Kawakami K, Matsufuji H, Suenobu S, Handa N, Kohashi K, Oda Y, Hara T, <u>Taguchi T</u> .	The prognostic significance of blastemal predominant histology in initially resected Wilms' tumors: a report from the Study Group for Pediatric Solid Tumors in the Kyushu Area, Japan.	J Pediatr Surg	47(12)	2205-9	2012
Matsuura T, Kohashi K, Yanagi Y, Saeki I, Hayashida M, Aishima S, Oda Y, <u>Taguchi T</u> .	A morphological study of the removed livers from patients receiving living donor liver transplantation for adult biliary atresia.	Pediatr Surg Int	28(12)	1171-5	2012

金森 豊、臼井 規朗、北野 良博、左合 治彦、左 勝則、米田 光宏、中村 知夫、野坂 俊介、宗崎 良太、田口 智章.	本邦で胎児診断された仙尾部奇形腫の生命予後に関する検討－厚生労働省科学研究・胎児仙尾部奇形腫の実態把握・治療方針作成に関する研究から－.	日小外誌	48(5)	834－839	2012
永田 公二、手柴 理沙、江角元史郎、木下 義晶、増本 幸二、藤田 恭之、福島恒太郎、和氣 徳夫、田口 智章.	当科にて出生前診断されたisolated CDHの長期予後.	周産期シンポジウム抄録集	30	93－99	2012
宮本 和俊、田口 智章.	第48回日本小児外科学会学術集会 ワークショップⅡ「Hirschsprung病術後の術式別排便機能」.	日小外誌	48(1)	22-24	2012
田口 智章、福重淳一郎.	小児外科の進歩. 臨床と研究	臨床と研究	89(6)	141-152	2012
松浦 俊治、田口 智章.	小腸移植の現況 －九州初の脳死小腸移植を実施して－	福岡医学雑誌	103(8)	151－158	2012
永田 公二、手柴 理沙、江角元史郎、宗崎 良太、林田 真、冢入 里志、和田 美香、原田 起代枝、宮崎 敬子、立花由紀子、木下 義晶、田口 智章.	難治性手術創に対する局所陰圧閉鎖療法の適応.	小児外科	44(10)	943－950	2012
永田 公二、手柴 理沙、江角元史郎、宗崎 良太、林田 真、冢入 里志、金城 唯宗、落合 正行、木下 義晶、原 寿郎、田口 智章.	外科疾患を伴う極低出生体重児と外科疾患を伴わない極低出生体重児の長期予後.	小児外科	44(11)	1077-1081	2012
田口 智章、宗崎 良太、手柴 理沙.	Ⅲ. 知っておくべき消化器疾患の最新治療 虫垂炎.	小児科診療	76(2)	255-261	2013
田口 智章.	胎児治療の最前線と今後の展望 胎児治療の現状.	小児外科	45(1)	5-7	2013
Hishida A, Okada R, Naito M, Morita E, Wakai K, Hamajima N, Hosono S, Nanri H, Turin TC, Sadao Suzuki S, Kuwabara K, Mikami H, Budhathoki S, Watanabe I, Arisawa K, Kubo M and Tanaka H	Polymorphisms in genes encoding antioxidant enzymes (SOD2, CAT, GPx, TXNRD, SEPP1, SEP15 and SELS) and risk of chronic kidney disease in Japanese - cross-sectional data from the J-MICC study	Journal of Chemical Biochemistry and Nutrition in press			2013

Hishida A, Wakai K, Okada R, Morita E, Hamajima N, Hosono S, Higaki Y, Turin TC, Suzuki S, Motahareh K, Mikami H, Tashiro N, Watanabe I, Katsuura S, Kubo M, Tanaka H, Naito M	Significant interaction between RETN -420 G/G genotype and lower BMI on decreased risk of Type 2 DM in Japanese - the J-MICC Study [Rapid Communication]	Endocr J				2013
Okada R, Kawai S, Naito M, Hishida A, Hamajima N, Shinchi K, Chowdhury Turin T, Suzuki S, Mantjoro EM, Toyomura K, Arisawa K, Kuriyama N, Hosono S, Mikami H, Kubo M, Tanaka H, Wakai K	Japan Multi-Institutional Collaborative Cohort (J-MICC) Study Group. Matrix metalloproteinase-9 gene polymorphisms and chronic kidney disease	Am J Nephrol	36(5)	444-50		2012
Higashibata T, Hamajima N, Naito M, Kawai S, Yin G, Suzuki S, Kita Y, Niimura H, Imaizumi T, Ohnaka K, Arisawa K, Shigeta M, Ito H, Mikami H, Kubo M, Tanaka H, Wakai K	eNOS genotype modifies the effect of leisure-time physical activity on serum triglyceride levels in a Japanese population	Lipids Health Dis	Nov 5	11:150		2012
Hara M, Higaki Y, Taguchi N, Shinchi K, Morita E, Naito M, Hamajima N, Takashima N, Suzuki S, Nakamura A, Ohnaka K, Uemura H, Nishida H, Hosono S, Mikami H, Kubo M, Tanaka H	Japan Multi-Institutional Collaborative Cohort (J-MICC) Study Group. Effect of the PPARG2 Pro12Ala polymorphism and clinical risk factors for diabetes mellitus on HbA1c in the Japanese general population	J Epidemiol	22(6)	523-31		2012
Hishida A, Morita E, Naito M, Okada R, Wakai K, Matsuo K, Nakamura K, Takashima N, Suzuki S, Takezaki T, Mikami H, Ohnaka K, Watanabe Y, Uemura H, Kubo M, Tanaka H, Hamajima N	Associations of apolipoprotein A5 (APOA5), glucokinase (GCK) and glucokinase regulatory protein (GCKR) polymorphisms and lifestyle factors with the risk of dyslipidemia and dysglycemia in Japanese - a cross-sectional data from the J-MICC Study	Endocr J	59(7)	589-99		2012
Nishiyama T, Kishino H, Suzuki S, Ando R, Niimura H, Uemura H, Horita M, Ohnaka K, Kuriyama N, Mikami H, Takashima N, Mastuo K, Guang Y, Wakai K, Hamajima N, Tanaka H	J-MICC Study Group. Detailed analysis of Japanese population substructure with a focus on the southwest islands of Japan	PLoS One	7(4)	e35000		2012

Uemura H, Hiyoshi M, Arisawa K, Yamaguchi M, Naito M, Kawai S, Hamajima N, Matsuo K, Taguchi N, Takashima N, Suzuki S, Hirasada K, Mikami H, Ohnaka K, Yoshikawa A, Kubo M, Tanaka H	Japan Multi-institutional Collaborative Cohort. Gene variants in PPAR δ and PPAR γ 1A are associated with timing of natural menopause in the general Japanese population	Maturitas	71(4)	369-75	2012
Hiyoshi M, Uemura H, Arisawa K, Nakamoto M, Hishida A, Okada R, Matsuo K, Kita Y, Niimura H, Kuriyama N, Nanri H, Ohnaka K, Suzuki S, Mikami H, Kubo M, Tanaka H, Hamajima N	J-MICC Study Group. Association between the catechol-O-methyltransferase (rs4680: Val158Met) polymorphism and serum alanine aminotransferase activity	Gene	496(2)	97-102	2012
kada R, Wakai K, Naito M, Morita E, Kawai S, Hamajima N, Hara M, Takashima N, Suzuki S, Takezaki T, Ohnaka K, Arisawa K, Hirohata H, Matsuo K, Mikami H, Kubo M, Tanaka H	Japan Multi-Institutional Collaborative Cohort (J-MICC) Study Group. Pro-/anti-inflammatory cytokine gene polymorphisms and chronic kidney disease: a cross-sectional study	BMC Nephrol	Jan 9 13:2		2012
瀧本哲也、池田 均	日本小児がん学会と日本神経芽腫研究グループの登録データからみた本邦の神経芽腫実態把握の現況	日本小児血液がん学会雑誌	49(3)	304-309	2012
Ito Y, Nakayama T, Miyashiro I, Sugimoto T, Ioka A, Tsukuma H, Abdel-Rahman ME, Rachet B.	Trends in 'Cure' Fraction from Colorectal Cancer by Age and Tumour Stage Between 1975 and 2000, Using Population-based Data, Osaka, Japan.	Jpn J Clin Oncol.	42(10)	974-83	2012
Quang Vu, Taizo Wada, Tomoko Tama, Hanako Tajima, Miho Maeda, Risa Tanaka, Tsutomu Ohishi, Akihiro Yachie	Clinical and immunophenotypic feature of atypical complete DiGeorge syndrome	Pediatr Internat	in press		
前田美穂	赤血球に必要な栄養成分が不足して起こる貧血	チャイルドヘルス	15(6)	25-29	2012
瀧本 哲也、池田 均	日本小児がん学会と日本神経芽腫研究グループの登録データからみた本邦の神経芽腫実態把握の現況	日本小児血液・がん学会雑誌	49	304-309	2012
佐藤 (船木) 聡美, 瀧本哲也, 藤本純一郎	小児がんの子どもたちの認知機能の変化	小児科診療	75	2175-2178	2012
清谷知賀子, 森鉄也	小児がんの疾患教育とターミナルケア	小児科臨床	65(4)	553-557	2012

Kikuchi A, Yabe H, Kato K, Koh K, Inagaki J, <u>Sasahara Y</u> , Kojima S, et al	Long-term outcome of childhood aplastic anemia patients who underwent allogeneic hematopoietic SCT from an HL-matched sibling donor in Japan.	Bone Marrow Transplantation	in press		2012
Yagasaki H, Kato M, Shimozawa K, Hirai M, Nishikawa E, Okuma H, Ishii W, Imai Y, Matsumura M, Yonezawa R, Yoshikawa K, Shichino H, Chin M, <u>Mugishima H</u>	Treatment responses for disseminated intravascular coagulation in 25 children treated with recombinant thrombomodulin: A single institution experience.	Thromb Res	130(6)	e289-93	2012
七野 浩之, 谷ヶ崎 博, 大熊 啓嗣, 西川 英里, 下澤 克宜, 平井 麻衣子, 加藤 麻衣子, 陳基明, <u>麦島 秀雄</u>	小児血液腫瘍性疾患における Tazobactam/piperacillin の使用経験	小児科臨床	65(6)	1169-1175	2012
阿部 百合子, 住友 直方, 大熊 洋美, 福原 淳示, 市川 理恵, 平井 麻衣子, 中村 隆広, 松村 昌治, 金丸 浩, 七野 浩之, 鮎沢 衛, 陳基明, <u>麦島 秀雄</u>	抗真菌薬による torsade de pointes、無脈性心室頻拍に対し静注用アミオダロンが有効であった急性リンパ性白血病の1例	心臓	44	Suppl. 2 64-68	2012
Taga T, Saito AM, Kudo K, Tomizawa D, Terui K, Moritake H, Kinoshita A, Iwamoto S, Nakayama H, Takahashi H, Tawa A, Shimada A, Taki T, <u>Kigasawa H</u> , Koh K, Adachi S	Clinical characteristics and outcome of refractory/relapsed myeloid leukemia in children with Down syndrome	Blood	120(9)		2012
Gomi K, Tanaka M, Yoshida M, Ito S, Sonoda M, Iwasaki F, Niwa T, Aida N, <u>Kigasawa H</u> , Tanaka Y	Primary cerebellar histiocytic sarcoma in a 17-month-old girl	J Neurosurg Pediatr.	10(2)	126-9	2012
Odagiri K, Omura M, Hata M, Aida N, Niwa T, Ogino I, <u>Kigasawa H</u> , Ito S, Adachi M, Inoue T	Treatment outcomes, growth height, and neuroendocrine functions in patients with intracranial germ cell tumors treated with chemoradiation therapy	Int J Radiat Oncol Biol Phys	84(3)	632-8	2012

Kato M, Horikoshi Y, Okamoto Y, Takahashi Y, Hasegawa D, Koh K, Takita J, Inoue M, Kigasawa H, Ogawa A, Sasahara Y, Kawa K, Yabe H, Sakamaki H, Suzuki R, Kato K	Second allogeneic hematopoietic SCT for relapsed ALL in children	Bone Marrow Transplant	47(10)	1307-11	2012
Tanaka M, Kato K, Gomi K, Yoshida M, Niwa T, Aida N, Kigasawa H, Ohama Y, Tanaka Y	NUT midline carcinoma: report of 2 cases suggestive of pulmonary origin	Am J Surg Pathol	36(3)	381-8	2012
Yagasaki H, Kojima S, Yabe H, Kato K, Kigasawa H, Sakamaki H, Tsuchida M, Kato S, Kawase T, Morishima Y, Koderu Y	Japan Marrow Donor Program. Acceptable HLA-mismatching in unrelated donor bone marrow transplantation for patients with acquired severe aplastic anemia	Blood	118(11)	3186-90	2011
Yoshida M, Tanaka M, Gomi K, Ohama Y, Kigasawa H, Iwanaka T, Tanaka Y	Malignant steroidogenic tumor arising from sacrococcygeal mature teratoma	Hum Pathol	42(10)	1568-72	2011
Imaizumi M, Tawa A, Hanada R, Tsuchida M, Tabuchi K, Kigasawa H, Kobayashi R, Morimoto A, Nakayama H, Hamamoto K, Kudo K, Yabe H, Horibe K, Tsuchiya S, Tsukimoto I	Prospective study of a therapeutic regimen with all-trans retinoic acid and anthracyclines in combination of cytarabine in children with acute promyelocytic leukaemia: the Japanese childhood acute myeloid leukaemia cooperative study	Br J Haematol	152(1)	89-98	2011
Gomi K, Hamanoue S, Tanaka M, Matsumoto M, Kitagawa N, Niwa T, Aida N, Kigasawa H, Tanaka Y	Anaplastic sarcoma of the kidney with chromosomal abnormality: first report on cytogenetic findings	Hum Pathol	41(10)	1495-9	2010
Kato K, Nagai J, Toyoda Y, Kigasawa H	A case of de novo acute myeloid leukemia with der(11)t(7;11)(q11;q23) and -7	J Pediatr Hematol Oncol	32(3)	246-7	2010
Tanaka M, Kigasawa H, Kato K, Ijiri R, Nishihira H, Aida N, Ohama Y, Tanaka Y	A prospective study of a long-term follow-up of an observation program for neuroblastoma detected by mass screening	Pediatr Blood Cancer	54(4)	573-8	2010
Isoyama K, Oda M, Kato K, Nagamura-Inoue T, Kai S, Kigasawa H, Kobayashi R, Mimaya J, Inoue M, Kikuchi A, Kato S	Japan Cord Blood Bank Network. Long-term outcome of cord blood transplantation from unrelated donors as an initial transplantation	Bone Marrow Transplant	45(1)	69-77	2010
工藤寿子	悪性腫瘍の患児と両親への精神的サポート—医師の立場から	小児外科特集 心のケア	44	139-142	2012

Imamura T, Iwamoto S, Kanai R, Shimada A, Terui K, Osugi Y, Kobayashi R, Tawa A, Kosaka Y, Kato K, <u>Hori H</u> , Horibe K, Oda M, Adachi S	Outcome in 146 patients with paediatric acute myeloid leukaemia treated according to the AML99 protocol in the period 2003-06 from the Japan Association of Childhood Leukaemia Study	Br J Haematol	159(2)	204-10	2012
Shimizu M, Sawada A, Yamada K, Kondo O, Koyama-Sato M, Shimizu S, Komura H, Yasui M, <u>Inoue M</u> and Kawa K	Encouraging results of preserving ovarian function after allo-HSCT with RIC.	Bone Marrow Transplant	47	141-142	2012
<u>井上雅美</u>	小児領域におけるミニ移植の意義	血液フロンティア	22	47-53	2012
Hiramoto T, Ebihara Y, Mizoguchi Y, Nakamura K, Yamaguchi K, Ueno K, Mochizuki S, Yamamoto S, Nagasaki M, Furukawa Y, Tani K, Nakauchi H, <u>Kobayashi M</u> , Tsuji K	Wnt3a stimulates maturation of impaired neutrophils developed from severe congenital neutropenia-derived pluripotent stem cells with heterozygous <i>ELANE</i> mutation	Proc Natl Acad Sci USA	in press		2013
Kawai T, Nishikomori R, Izawa K, Murata Y, Tanaka N, Sakai H, Saito M, Yasumi T, Takaoka Y, Nakahata T, Mizukami T, Nunoi H, Kiyohara Y, Yoden A, Murata T, Sasaki S, Ito E, Akutagawa H, Kawai T, Imai C, Okada S, <u>Kobayashi M</u> , Heike T	Frequent somatic mosaicism of NEMO in T cells of patients with X-linked anhidrotic ectodermal dysplasia with immunodeficiency	Blood	119(23)	5458-66	2012
Kobayashi Y, Matsui H, Kanai A, Tsumura M, Okada S, Miki M, Nakamura K, Kunishima S, Inaba T, <u>Kobayashi M</u>	Identification of the integrin $\beta 3$ L718P mutation in a pedigree with autosomal dominant thrombocytopenia with anisocytosis	Br J Haematol	DOI Dec 17		2012

Tsumura M, Okada S, Sakai H, Yasunaga S, Ohtsubo M, Murata T, Obata H, Yasumi T, Kong XF, Abhyankar A, Heike T, Nakahata T, Nishikomori R, Al-Muhsen S, Boisson-Dupuis S, Casanova JL, Alzahrani M, Shehri MA, Elghazali G, Takihara Y, Kobayashi M	Dominant-negative STAT1 SH2 domain mutations in unrelated patients with Mendelian susceptibility to mycobacterial disease.	Human Mutation	33(9)	1377-87	2012
Zhang X, Inukai T, Hirose K, Akahane K, Kuroda I, Honna-Oshiro H, Kagami K, Goi K, Nakamura K, Kobayashi M, Endo M, Yagita H, Kurosawa H, Thomas Look A, Honda H, Inaba T, Nakazawa S, Sugita K	Oncogenic fusion E2A-HLF sensitizes t(17;19)-positive acute lymphoblastic leukemia to TRAIL-mediated apoptosis by upregulating the expression of death receptors.	Leukemia	26(12)	2483-93	2012
Ohno N, Kobayashi M, Hayakawa S, Utsunomiya A, Karakawa S	Transient pseudothrombocytopenia in a neonate: Transmission of a maternal EDTA-dependent anticoagulant.	Platelets	23(5)	399-400	2012
Kajiume T, Sera Y, Kawahara Y, Matsumoto M, Fukazawa T, Imura T, Yuge L, Kobayashi M.	Regulation of hematopoietic stem cells using protein transduction domain-fused Polycomb.	Exp Hematol	40(9)	751-760	2012
溝口 洋子, 鎌田 綾, 三木 瑞香, 谷 博雄, 世羅 康彦, 中村 和洋, 小林 正夫	Glanzmann thrombastheniaへの遺伝子組み換え活性化型第VII因子製剤による止血効果	日本小児血液・がん学会雑誌	49(1-2) 9	61-66	2012
梶梅 輝之, 浅野 孝基, 世羅 康彦, 小林 正夫	輸血後蕁麻疹発症前の末梢血一般検査所見	アレルギー	61(8)	1086-1091	2012
溝口洋子, 津村弥来, 岡田賢, 小林正夫	慢性皮膚粘膜カンジダ症と機能獲得性STAT1変異	臨床免疫・アレルギー科	57(4)	437-443	2012
Kodama Y, Okamura J, Fukano R, Nakashima K, Ito N, Nishimura M, Abe Y, Suzuki T, Inagaki J	Re-emerging Philadelphia chromosome-positive acute leukaemia more than 20 years after allogeneic haematopoietic stem cell transplantation	Brit J Hematol	Jan 7(EPU B)		2013
Inagaki J, Fukano R, Nishikawa T, Nakashima K, Sawa D, Ito N, Okamura J	Outcomes of immunological interventions for mixed chimerism following allogeneic stem cell transplantation in children with juvenile myelomonocytic leukemia	Pediatric Blood Cancer	60	116-120	2013

Nishikawa T, Inagaki J, Nagatoshi Y, Fukano R, Nakashima K, Ito N, Sawa D, Kawano Y, Okamura J	The second therapeutic trial for children with hematological malignancies who relapsed after their first allogeneic SCT: Long-term outcomes	Pediatr Transplant	16	772-728	2012
Kikuchi A, Hasegawa D, Ohtsuka Y, Hamamoto K, Kojima S, Okamura J, Nakahata T, Manabe A	Outcome of children with Refractory Anaemia with Excess of Blast (RAEB) and RAEB	Bone Marrow Transplant	47(8)	1138-9	2012
深野玲司, 住江愛子, 松崎彰信, 稲田浩子, 永利義久, 石井榮一, 中山秀樹, 川上 清, 盛武 浩, 柳井文男, 糸長伸能, 末延聡一, 菊地昌弘, 岡村 純, 河野嘉文	小児非ホジキンリンパ腫の治療成績 -九州・山口小児がん研究グループKYCCSG NHL-89, 96	臨床血液	53(11)	1898-1905	2012
石田也寸志, 本田美里, 坂本なほ子, 大園秀一, 上別府圭子, 岩井艶子, 掛江直子, 岡村 純, 浅見恵子, 井灘浩子, 前田尚子, 堀部敬三	小児がん経験者の横断的調査研究における自由記載欄の解析	日本小児科学会雑誌	116	526-536	2012
Tanaka A, Okuyama T, Suzuki Y, Sakai N, Takakura H, Sawada T, Tanaka T, Otomo T, Ohashi T, Ishige MW, Yabe H, Ohura T, Suzuki N, Kato K, Adachi S, Kobayashi R, Mugishima H, Kato S.	Long-term efficacy of hematopoietic stem cell transplantation on brain involvement in patients with mucopolysaccharidosis type II: A nationwide survey in Japan.	Mol Genet and Metab	107	513-520	2012
Nagai A, Ning Z, Kubota M, Kojima C, Adachi S, Usami I, Okada M, Tanizawa A, Hamahata K, Matsubara K, Higuchi M, Imaizumi M.	Fatigue in survivors of childhood of acute lymphoblastic and myeloid leukemia.	Pediatr Int	54	272-276	2012